

# ともろう通信



No. 32

2023年10月発行

ともろう  
共朗生 — 共に朗らかに生きていきたい!

★ともろう通信は、NPO 法人男女共同参画こしがやともろうの機関誌です。

事業：①男女共同参画の推進を担う人材養成事業②情報提供、調査研究事業  
③自立支援・相談事業④子どものための自立支援事業



“男女共同参画センターの貴重なコレクション活用を”

暑さにもがいて「あらっ?秋」となりました。夏の癒し、秋はやさしいですね。  
振り返って、私の仕事の関わりの中心は、男女共同参画センターであり、また、  
そのライブラリーであることを思い起こしています。



1977年NWE Cが開館、「男女共同参画社会基本法」の成立を経て、それから45年あまりで  
今、全国に男女共同参画センターが356あることが、内閣府の調査で報告されています。

規模の大小に関わらず、ジェンダー情報として、本や資料を蓄積し、NWE Cは147万7446冊、  
2万冊以上の資料を所蔵しているライブラリーは21あります。公共図書館の蔵書から見ればわずか  
ですが、一冊一冊少ない予算から丁寧に選ばれた女性たちの活動の記録として歴史的なコレクション  
です。

価値あるコレクションを書架に死蔵してしまわない、ほこりをためない。古本扱いしない。

連携の基盤ともなるコレクションを公共図書館や大学などに発信するために、どのような方法があ  
るだろうか、なによりもセンターのスタッフに自館の資料を再評価してもらいたいと思いつつ、一月  
に出版する本の原稿「(仮題)女性・図書館・ジェンダー」を体力の衰えと闘いながら、なかなか進ま  
ない原稿書きの日々が続いています。



令和5年10月 認定NPO 法人男女共同参画こしがやともろう理事 青木玲子

# 生きづらさを抱えた女性の支援事業「ゆったりカフェ」報告

10月 認定NPO 法人男女共同参画こしがやともろう理事 坂本雅子

## 1 ゆったりカフェは女性参加です

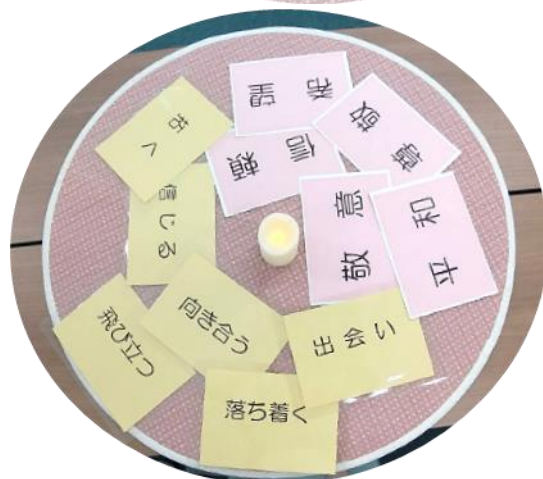
集う人たちの安心・安全のため、まず、カフェでの話はカフェ限り、きいたことは決して他言しないことを確認します。対話のよりよい場になるように4つの約束と基本ルールがあります。

- 4つの約束 ①お互いを尊重する ②相手の話をよく聴く  
③相手を非難しない ④発言をしなくてもよい
- 基本ルール ・話し手はトーキングピースを持つ人のみ。  
石や縫いぐるみや民芸品など手のひらサイズのグッズ ➡  
・はじめに幾つかの中から決めて、語り終わったら次の人に渡す。



## 2 おすすめ方

- ・進行: ともろうのキーパーによって進行します。キーパーも一参加者になります。
- ・内容: 自己紹介、近況報告、キーパーの「問い」です。1ラウンド「問い」を1つとして2～3ラウンドです。
- ・「問い」: 用意されたカードを選び、始めます。カード➡
- ・カード: 1文字漢字、2文字熟語、ことば(オノマトペ)、色写真などがあります。



実施日*	参加者数*	カード	問い
4/26	5名	長田弘 作 詩「最初の質問」の一節 今日、あなたは空を見上げましたか/「ありがとう」という言葉を、今日、あなたは口にしましたか/ など	心にひびくことば
5/31	5名	長田弘 作 詩「最初の質問」	自分にとって大切なこと
6/28	5名	漢字2文字 希望、信頼、尊敬など	尊重について
7/19	4名	絵本「月、人、石」の 写真-川島敏夫、ことば-谷川俊太郎、書-乾千恵	あなたの最も好きなもの
8/23	0		9/27 今の自分の気持ちに ぴったりくるもの
9/27	5名	言葉 向き合う、拓く、信じるなど	

\*毎月末 水曜日 午後1時30分から3時。参加者数はキーパーを除く。

## 3 参加者の感想

- ・人の話を聴いていると、予期しないことばや、思い出があふれてくる。
- ・自分の話をする番を不安に思っていたが、この話をしたいと思ったら出来ました。
- ・聴いてもらえて有難い。 ・私も話ができる。
- ・聴いていたら親のことを思い涙が出ました。
- ・心のバランスをとる唯一の場所。
- ・私の話を聴いてくれる。何も言わずに。始めてです。



**ぜひ、ゆったりカフェにお出かけください**

今後の予定 10/25、11/22、12/20

越谷市市民活動支援センター

# 出前講座報告

10月 認定NPO法人男女共同参画こしがやともろう理事 島津美弥子

## 事業名：【映画上映】シネマサロン『ツヒノスミカ』

日時：2023年7月16日（日）10：00～12：00

場所：春日部市男女共同参画推進センター

講師：理事 小野由理

### 内容

90歳を超えてなお元気な一人暮らしのマツさんが妹の死をきっかけに「寂しい」と言った。なん十年も変わらない生活を続けてきた家を取り壊していく様子を家族との会話や音楽で紡いでいくドキュメンタリー映画。『ツヒノスミカ』の上映とトーク、また高齢の女性が活躍する映画を紹介した。



ハーモニー春日部 シネマサロン  
映画上映

山本起也 監督作品

## ツヒノスミカ

住み慣れた家を壊し息子夫婦と同居することになった90歳のマツ。家の建て替えという出来事を通して、ある家族のひと夏を見つめたドキュメンタリー。家に眠る記憶の数々を愛おむような映像は、普段は見えない家族の絆までも映し出す。無名の人々の生活の中に息づくドラマを丁寧にすくい取った秀作。映画の解説もお楽しみいただけます。

7/16(日)  
10:00~12:00

講師：小野由理さん  
(認定NPO法人男女共同参画こしがやともろう理事)  
会場：ハーモニー春日部  
参加費：無料  
定員：20人(申込み順)  
申込み：来所または電話で  
ハーモニー春日部へ



クロスフィット/こたつシネマ制作  
芸術文化振興基金助成事業  
2006年/165ミリ/カラー/80分



◎お問合せ・お申込み  
春日部市男女共同参画推進センター  
ハーモニー春日部  
〒344-0063 春日部市緑町3-3-17  
tel.048-731-3333  
mail: harmony.kasukabe@mchikaku.co.jp  
hp: https://harmony.kasukabe-center.jp  
無料駐車場がございます。

## 参加者の感想 参加人数：38人（女性24人 男性14人）

- ・とてもよい映画。断捨離は元気なうちにやった方がよいと思った。
- ・映画を見て、他人には不要と思っていても本人にとっては捨てきれない大切なものがあるという気持ちが切実に伝わった。
- ・とても楽しく観た。健康の大切さをつくづく感じた。
- ・たくさんの方がマツさんに関わって、尊重していてうれしくなる映画だった
- ・マツさん90歳とは思えない。自立していて行動的で積極的。まねしたいと思った。
- ・歳を重ねてもじぶんらしい生き方だと思った
- ・とても参考になった。自分も無理しないよう丁寧に過ごしたい。



小野講師

## ともろうカフェ「性と生殖に関する権利～今知りたいこと・話し合いたいこと～」 連続講座 第1回報告

10月 認定NPO法人男女共同参画こしがやともろう理事 青木玲子

2023年4月の「W7 ジャパン 2023」では、世界の女性たちが集い、共通した5つの課題が提案されました。中でも、日本が最も遅れているという「身体の自立と自己決定」：ジェンダーに基づく暴力、性と生殖に関する健康と権利、性的自認、ジェンダー表現・性的特徴はともろうも取り組んできた課題です。

そこで、2023年度「ともろうカフェ」は「性と生殖に関する権利～今知りたいこと・話し合いたいこと～」をテーマに基礎的な情報共有と専門家による連続講座を4回開催することにしました。

日時・場所	2023年7月23日(日)13:30~15:30	越谷市市民活動支援センター
講師	堀口悦子さん	明治大学 情報コミュニケーション学部 専任准教授
テーマ	「性と生殖に関する権利～今知りたいこと・話し合いたいこと～」	
参加者数	14人	参加費 500円

### 講座概要(レジュメより)

#### 1 性と生殖に関する権利

WHO(世界保健機関)が提唱したリプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康/権利) 主語は、個人及びカップル カップルは、男男、女女を含む。

#### 2 セクシュアル・ライツ

アメリカ・カリフォルニア州では、ジェンダーとセクシュアリティの分類 97 種類

#### 3 妊娠中絶 アメリカでは後退。韓国では墮胎罪廃止。

日本では、母性保護法で、安全で合法的な中絶を受けることはできるが、一方で、刑法に墮胎罪。

#### 4 「レイプドラッグ」

知らない女性が多い。特別な薬ではない。映画「ウーマン・トーキング」牛の鎮静剤。  
Netflix「警視庁捜査1課 ルーシー・ブラックマン事件」

#### 5 子どもへの性犯罪 「ジャニーズ事件」

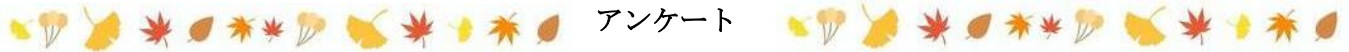
#### 6 メディアの問題 今こそ、「ジェンダーに基づく性暴力」を考えるとき





堀口講師



**青木** 10月25日、速報で飛び込んできた「性別変更手術必要」は「違憲」との最高裁の全員一致の判決が新聞に大きく報道されています。「性と生殖に関する権利」についての第1回の学びを思い出しました。「自分」でいられる社会の実現を願い、トランスの方たちのつらい思いとこの法律に向き合わなければと思いました。今までのように思いだけでは社会は進まない、どのような行動が出来るのか、今後の「ともろうカフェ」で共有したいですね。



## アンケート

- 各章のお話が始まるたびに、結局「女性が差別されている現状について」思い知らされる・・・の繰り返しでした。妊娠中絶だけでなく、分娩についてもより良い技術が既にあるにも関わらず「痛みがあってこそ母親に・・・」的に女性の痛み、苦しみを痛みの感じない方の性が過少評価したり、懲罰的な制度にしているのが腹立たしいです。各年代ごとへの性教育が必要だし、何より人権意識？尊厳について学ぶ必要性を痛感しています。ジャニーズを取材した BBC 記者の障害者のジャニー喜多川への思いを聞いた時の表情、あれが国際基準なのだと思うと、今の日本ってやっぱりおかしい、と思わずにはいられませんでした。
  - 性に基づく差別は労働の場や家庭生活の中で起こると思いがちでしたが、性にかかわる場で最も深刻な差別がおこっていることに気づかされました。私たちはこんなところに生きているんだと改めて思い知らされたような気がします。こういう社会を変えていかなければ・・・と思いました。とてもタイムリーな今こそ聞きたいテーマだと思いました。
  - 普段からリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関して意識的になっていない自分への気づきがあり、大変勉強になりました。アダルト・ビデオのお話がありましたが、性産業に知的障害、精神障害の女性がかかり入っています。入る理由は多岐に渡り、このバックグラウンドがかかり問題があると思いますが、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの方からはどんな立場をとられているのか知りたいと思いました。又、参加させてください。
- 
- 多様な視点でジェンダーの課題の切り口をお話いただき有意義な会でした。考えることを続けていきたいと思いました。
  - 性犯罪についての話（芸能界・枕営業・AV 問題・ストーカー）は非常に有益であると思いました。又、荻野吟子氏、吉岡弥生氏、キュリー夫人の話が良心的なものであると思いました。
  - 紹介された小説、映画などを読み、観てみたいと思いました。次回も専門的な内容で講演をお願いしたい。名字と戸籍の問題について等。
  - セクハラに会わない女性は、まず無いと思う。男性と平等な人格を持つ人間として対等に生きていきたい。教員に正しい性教育が必要です。
- 
- 日本はまだまだ男性優位社会ですね。しかも、世界の方向に逆行しているていたらしく。今、”性”が普通に話題にできる重要な転換期になっている気がします。社会みんなで考えて、必要だと思う人が小さくても声を出し続けていかなければいけないですね。知らないことばかりですが、少しずつ勉強し続けていきたいです。

## ともろうカフェ「性と生殖に関する権利～今知りたいこと・話し合いたいこと～」 連続講座 第2回報告

10月 認定NPO法人男女共同参画こしがやともろう理事 渡部尚子

日時・場所	2023年9月16日(土)10:00~12:00 越谷市市民活動支援センター
講師	鈴木幸子さん 埼玉県立大学名誉教授、日本女子大学非常勤講師、助産師
テーマ	男女共同参画の視点でとらえなおす「月経」
参加者数	20人
	参加費 500円

ともろうカフェ「性と生殖に関する権利～今知りたいこと・話し合いたいこと～」の第2回連続講座が鈴木幸子さんを招いて開催。今回のテーマは「男女共同参画の視点でとらえなおす『月経』」。

まず、月経が人類誕生以来、子孫存続の為に女性に備わった生理現象であるにも拘わらず、それを穢れや卑しい存在とし秘匿して扱われてきた歴史から話が始まった。



そしてその誤解や偏見は未だ払拭されず、その実例として小中学校及び家庭における月経教育の現状（女子中心の初経教育、具体的な対処法・セルフケア指導の欠如、教師・親の価値観や経験からくる偏った指導、発達年齢に即した継続的教育の欠如等）や、また月経処理を行うトイレ環境の実態（生理処理がしにくい和式便器、生理用品棚やサニタリーボックスの不設置等）をスライドで説明された。

こうした状況は、月経に対する肯定的感情や不安の除去、快適な対応等の知識やアクセス方法の獲得、あるいはオープンに語り合うことや男性の月経への理解を妨げているのではと語られた。



講座の後半は、生理（月経）関連、尿漏予防及び皮膚保護関連、周産期関連ごとに展示された女性の健康サポート製品を参加者全員が実際に手に取り、その使用法などを話し合った。良品質で優れた機能性・利便性を備えた最近の製品に皆感心し、早速購入希望の声が挙がる程この展示は好評を得た。

鈴木氏は講演の最後で「やや過激な意見」と断って、月経に伴う苦痛や不快・不便さの除去、また望まぬ妊娠の回避のために、適切に医薬品（低用量ピル・緊急避妊ピル、現在保険適用あり）を用いて自ら月経を止めたり開始したりする『月経選択時代』が来ているのでは、との話で締めくくられた。

**渡部** 今回は、月経が生理現象でそれに伴う身体的・精神的・社会的不利益を単に受容し忍耐するのではなく、科学や時代の進歩によって齎されるものへの正しい知識や情報、またそのアクセス等を学んだ講座であった。

## アンケート

- ・月経についての社会的、文化的なお話や今後のお話を聞いて大変興味深く思いました。性に関することはあまり大っぴらに語ることはなかったのですが、前回の講座も含め、改めて”性”について考える機会をいただきました。SRHR についての連続講座、今後も楽しみにしています。



- ・商品の展示があり、実際触れることができたこと、鈴木先生の講義からの知見、とても勉強になりました。参加して良かったです。これから初経を迎える娘をオープンに性の話ができる環境づくりを、今後も続けていけたらと思います。

- ・楽しかった。勉強になった。ナプキンの捨てる袋が小学校や中学校にあまりないことがわかって、もっと増えたらいいなと思った。

- ・とても興味深いお話でした。越谷市内の公共施設や学校でのナプキン配置がどうなっているか、気になっていたもので、今日いろいろなお話を聴いて、自分でも調べて又、提案していこうと思いました。次回も、予定が合えば是非、参加したいと思います。

- ・月経について改めて社会の認識が広がって欲しいと思いました。

- ・役に立ちました。若い世代の方に知って欲しいです。(自分の若い頃にあったら使いたいもの満載でした) オープンに語り合えたことがよかったです。”月経を止める”是非、そんな世界(時代)になって欲しいです。

- ・様々なグッズを実際に手に取って試せたことが1番良かった、楽しかったです。月経について「女性の身体に起こっているもの(身体の変化)」という捉え方しかしていなかったもので、社会の中で、という視点がとても新鮮でした。私自身の中にある偏見を振り返り、娘たちにも考える機会を作っていきたいと思いました。

- ・高校で家族保育の授業をするときに(S37,38年)、スライド用の男性器などは見せてはいけませんと先輩、教師に指示されました。鈴木先生には「ほっと越谷」で尿漏れの講座を受講したことを思い出しました。今、尿漏れでうんざりしています。副大臣、政務官が全員男性という日本、いやですね。

- ・参加者の皆様の反応が興味深く、関心高まりました。

- ・女性器の動画がよくできていて面白かった。展示品に知らないものが沢山あって興味深かった。

月経カップ、骨盤底筋トレーニングアイテムなど。

- ・先生のお話はとても面白かったです。助産師ですが初めて見るグッズもあり、役立つ情報が沢山あり、人に話したくなる講座でした

- ・月経についていろいろ学べて良かったです。グッズも手に取ってみることができて大変参考になりました。

- ・月経を手掛かりに女性の社会的位置を知ることが出来ました。最近やっと女性に特化した医療の専門センターができる(た?)という記事を見ました。女性の生きやすい社会をつくるためには、この視点は重要だと思いました。

- ・普段聞くことが出来ない話題が聞いて良かったです。 ・実際の見本(商品)が見られてよかったです。

- ・講師の先生の女性の月経のメカニズム、女性の月経についての切実な心理が説明されており、有意義なものだと思いました。





# 2023 年度こしがやともろう活動



総会 5月28日 予算 854,505円 (支出514,000円、予備費340,505円)

## 事業計画

・ゆったりカフェ 月1回 月末水曜日 13:30~15:00 (越谷市市民活動支援センター)

今後の予定 10/25、11/22、12/20

・出前講座 通期 地区センターなど

・ともろうカフェ

年4回連続講座 「性と生殖に関する権利~今知りたいこと・話し合いたいこと~」

今後の予定 (会場:越谷市市民活動支援センター)

第3回 12/16(土)10:00~12:00 講師 兼宗美幸さん(埼玉県立大学教授)  
テーマ「誰にもある更年期と心身のケア~認知行動療法を活用して」

第4回 2024年2/17(土)午後 講師 鈴木幸子さん(埼玉県立大学名誉教授)



こしがやともろうは、これからも活動を続けてまいります。

引き続き、皆様のご支援をお願い申し上げます。

正会員 年額 10,000円 賛助会員 年額 一口 2,000円

郵便振替口座 00120-1-447817

加入者名 PO法人男女共同参画 こしがやともろう

◎ 寄附のみも受け付けております ◎

◎ 男女共同参画こしがやともろうは認定NPO法人です。ご寄付は税金の控除を受けることができます。◎

( 発行・お問い合わせ )

認定特定非営利活動法人男女共同参画こしがやともろう

〒343-0026 埼玉県越谷市北越谷2-21-8

電話

080-3246-3540

Eメール

[koshigayatomorou.npofarenn@gmail.com](mailto:koshigayatomorou.npofarenn@gmail.com)

ウェブサイト

<https://koshigaya-tomorou.or.jp>